

どこかで春が

大正十二年

百田宗治作詞 草川信作曲

どこかで春がはるうまれてる

どこかで水がみずながながだだ流れ出す

どこかで雲雀がひばりないている

どこかで芽のめ出る音でがおとする

山やまの三月さんがつ そよ風かぜ吹ふいて

どこかで春がはるうまれてる